

1
2010
No.264
JA広報

けねへつ

迎春





謹賀新年

計根別農業協同組合

信用事業担当理事	理事兼務参事	監事	監事	代表	理事	理事	理事	理事	理事	副組合長	代表理事組合長	
職員	佐々木	佐藤	澤田	影山	齊藤	柵木	安齋	太田	漆原	鹿野	西塚	纈
一	照良					真喜夫	宏			一	秀	成
同	弘	文	紘	孝	明	夫	一	誠	功	博	夫	喜



虎の威を借りて(自然の力)“限り無く前進”

代表理事組合長 瀬 瀬 成 喜

組合員の皆様、明けましておめでとございます。御家族共々に本年が穏やかで充実した一年である事を願っております。

昨年は、過去に経験した事のない日照不足と湿害の年となり、その被害は全道に及び大きなダメージを受けました。当地に於いても牧草の収穫作業に苦勞を強いられ、収量減に加え、成分は低く品質も悪く栄養不足、エネルギー不足は秋以後の生乳生産の落ち込みに現れ乳牛の疾病にも影響が出ております。酪農環境はここ数年減産、一昨年の生産資材の大暴騰、そして自然災害と相次ぐ試験を受け忍耐の時期にあります。

悲観的な方向が示唆されており、当然の事に私たち酪農産業も世界経済、日本経済の動向に大きく左右される訳ですから、この不景気は牛乳、乳製品の需給に暗い影を落とし、昨年ようやく適正水準になったバター、脱粉の消費が落ち込み、本年の生乳生産にも現在の乳価を守る事も難しい情勢になっています。又、日本の政治にも大変化が起き、昨年八月の総選挙にて自民党の惨敗、民主党の大躍進と想像を超える結果になりました。長い自民党政治に嫌気も増し、この不景気、地方の疲弊等が相俟って国民の不満が表れたのでしよう。然し鳩山新政権も約束したマニフェストの実現には程遠く右往左往し、日々マスコミを賑わしていますが、私達酪農家にとりましては三月までに二

十二年度の補給金単価、関連対策を決める為に生産現場の現状を伝え政策に反映しなければなりません。遅々とし進んでいません。

総じて昨年の酪農環境は良い話題はなかった感がありますが、今年も寅年ですので、虎の威を借りても大地をしつかりと踏みしめて歩みたい願いがあります。酪農という産業はゴール無き拡大と語られますが、ゴールが見えた産業は衰退しかありません。私達はゴール無き拡大は“限り無き前進”と置き替えてこの産業を継続発展させなければなりません。くしくも、二十四年前の寅年昭和六十一年も外庄による乳製品の輸入拡大、消費減により過剰在庫となり、不足払い制度が

始まって以来はじめての大幅な乳価値下げ、生産調整、還元バターの実施と今時と重なる状況でした。然し、あの厳しい状況も酪農家個々が歯を食いしばり一層の前進、拡大を進めて今日の酪農があります。

とはいえ、私達がどんなに歯をくいしばって頑張っても勝てないのは自然の力です。今年こそ天候に恵まれ、お日様を一杯浴びた牧草を乳牛に与え、美味しい新鮮なミルクを沢山搾って、日本の景気も回復して、牛乳・乳製品が消費して頂く初夢が正夢となることを願いまししょう。結びに組合員・家族皆様方が御健勝にて災いのない穏やかな一年となります事御祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。



新年にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長

飛田 稔章

組合員をはじめＪＡ役職員の皆様方が、希望に満ちた平成二十二年の新春を家族とともに迎えられることを心からお喜び申し上げます。

昨年の本道農業は、夏の長雨と日照不足などの天候不順により、米の作況指数八九になる等、総体的に平年作を下回る厳しい結果となり、その被害総額は約六〇〇億円の見込みとなりました。ＪＡグループ北海道といたしまして、関係団体を含めた「平成二十一年度北海道農業団体冷湿害等対策本部」を設置し、北海道など関係団体と連携して、組合員の営農と生活の安定に向けて諸対応を行っているところであります。

さて、わが国の景気は、国内外の政策発動を主因とする効果により春先以降の持ち直しの動きがあるものの、失業率が５％を上回る高い水準にあり、依然として、世界の金融危機に端を

発する経済混乱の影響を脱しきれない状況にあります。

また、北海道農業は、農業者の高齢化と担い手の不足など、地域農業の構造変化が続く中で、農地制度改革や食料・農業・農村基本計画の見直し、戸別所得補償制度の導入検討など、農業政策は大転換期を迎えております。さらに、ＷＴＯ農業交渉やＥＰＡ・ＦＴＡ交渉の決着に向けた動きが模索されており、その決着如何では北海道農業はもとより、関連産業、地域経済にも深刻な影響をおよぼすことが危惧されております。

このため、ＪＡグループ北海道といたしましては、断固阻止の立場から、今後も、全国のＪＡグループや道内の経済・消費者団体などと連携し、あらゆる対応を図ってまいります。

こうした中、昨年開催した第二十六回ＪＡ北海道大会では、協同の力で築く『あすの食をささ

える北海道農業』を主題とし、組合員がＪＡ運動の主人公であることを再確認し、日本の食料基地北海道を自負するＪＡグループ北海道として、北海道農業が保有する潜在能力をフル発揮して、農業者が農業生産に意欲的に取り組むことができるための農業所得の拡大に取り組む」とともに、ＪＡと組合員の強固な結びつきのもと、多様な事業機能の発揮により、組合員・地域住民のみならず、利用されるＪＡづくりに向けて取り組むこと」を決議しました。

この決議事項は、向こう三カ年におけるＪＡが取り組むべき指針であり、その実践を通じて北海道農業がさらなるステップアップを図り、食料自給率の向上に寄与し、安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の皆さんが、北海道農業を応援してもらったための取組みであり、また、ＪＡ経営においては、経

営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するＪＡとなることを目指すものでありますので、全ＪＡでの取組みが求められるものであります。

最後に、金融不況による景気の低迷や、ＷＴＯ農業交渉等の進展が、私ども農業界に与える影響が懸念されますが、全道の組合員の皆さんをはじめ役職員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をより所にして、ＪＡへの結集を強め、協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開できるものと確信しております。

本年は災害がなく豊穰の出来秋を迎えることができましよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



より強くなるために

参事 佐藤良文

皆様方におかれましてはそれぞれの思いのなかにも健やかな新年を迎えられたことと拝察し、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

早いものでついこの間二十一世紀の扉が開いたと思いきや、もう十年が経過しました。毎年今年こそは穏やかな一年であつてほしいと願うのですが、年々不安が募る経済事情であつたり社会事情であつたり、更には昨年のような天候は単年度の粗飼料確保への影響だけに止まらず、牛の健康回復まで考慮するとその影響はまさに（牛）尾を引く事態となりました。結果、やはり今年も健康をはじめ我が家の経営も穏やかな一年であつて欲しいと皆で願つております。

皆様の情報があつたり、経営諸ツブの情報も僅かづつ安定方向に与るまい兆しが見えた中でのスタートでした。ところが牛乳乳製品の消費者価格アツプも一因ではありますが、不況が続く煽りでの雇用環境悪化による消費者の購買力減退、輸入乳製品との価格差拡大、これらがトリプルパンチとなつて生産環境を脅かし越年することとなりました。加えて昨年は、政権交代の牙城いわゆる「事業仕分け」の結果、まだ最終結論には至っていないものの道内に限れば予算要求に対する削減額の九割を一次産業が占めるという報道に「食糧の自給率向上」は「国是・国策」とはならないのか、国民の太宗がそうなのかと「将来の国民の食」に対する不安を一層募らせているのは私だけでしょうか。

以前、不作によりコメ不足になつた時、普段あまり見かけない人までが国産米を求めて殺到し、我が家は何時も「我がAコープ」でしか米を調達していないのに、タイ米しか買えなかつた時がありました。食するモノ自体それはそれで良かったのですが、「食の安全・安心」を考えたときどうしてもその時の光景を思い出さざるを得ません。輸出国は日本人の食を守ることに責任はない、「輸出」そのものが国是なのだ、余っているから輸出するのだ、自国民の食糧が不足してまで売ってくれる訳などないと思う人は少数派なのでしょうか。

さて、これらの背景の中で足元を直視したとき現場で取り組まなければならないことが二点挙げられると思います。一つは、飼料の自給率を高める経営基盤の確立です。外圧に柔軟に対応可能とする最大の武器は何といつても、手元・足元にある経営資源を活かすこと。昔から説かれていたことながら中々実践しきれない古くて新しい課題ですが、耕起、不耕起を問わず何としても十年以内の更新サイクルを全戸確立したいものです。

今一つは、経営費（特に生産資材費）節減のために系統結集すること。そのことにより、購買力・交渉力を高め結果として相互の費用節減に効果をもたらすものと確信します。（互助は自助の一助）

結びに、今年一年、皆様のご健勝で過ごされ喜びの多い年でありましてご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

J A 計根別青年部 部長 二瓶 裕 貴

新年明けましておめでとうございませう。

昨年は青年部活動に御理解と御享祿ご協力いただきありがとうございます。

昨年四月から青年部長として活動させていただきまして、早いものでもう八ヶ月、年末までに様々な活動を行ってまいりました。

六月に地域交差点の草刈を実施し、八月にミルクランドCM出演【道内で一年間放映されます】、九月にはジャンボハンバーグ郊外出展など行いましたが、その中でも力を入れたのは年末のお歳暮ギフトでした。

春の支部巡回で部員の意見を聞きとり何度が役員会をする中

で出来る事を絞り込んで参りました。

その結果、野付漁組の青年部長・購買課の協力を頂き雪印オリジナルセット・ホタテバターセット・鮭と乳製品セットを製作しました。

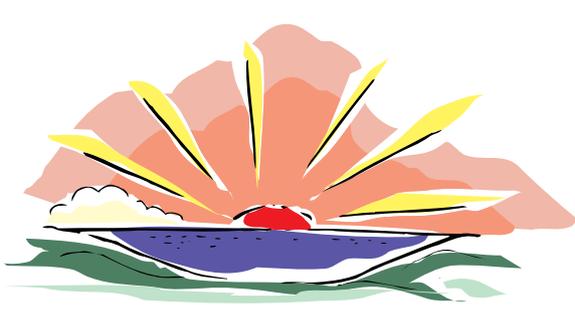
皆様方にお買い求めいただき、前回約七〇〇セットと多数の注文を頂きましたが、今回は二〇〇セットアップの九五二セットともの凄いい数の注文を頂きました。私自身ももの凄いい数に驚き感動しました。

また、今回はコスト削減のため一品一品自分達の手で詰め込みました。二日間、ほぼ全員に参加していただき、発送まで終わらせる事が出来ました。

J A けねべつの皆様方に御協力いただき九〇〇セットを超えることが出来たのも五年前に生産者自らが消費拡大をしよう！と始めた運動が定着したからですね。今では青年部最大の行事になりました。

「皆でやれば何でもできる！」で今年は益々部員の結束を高め、より力強い活動をしていきたいと思っておりますので、本年も頑張りましょう！

そして宜しくお願ひします。





新年挨拶

JA計根別女性部 部長 中垣直美

新年明けましておめでとうございませう。

組合員をはじめ農協、各関係機関の皆様におかれましては、旧年中より女性部活動に対し、多大なるご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

又、女性部員の皆様におかれましては、日頃より女性部活動に参加、協力を頂き厚くお礼申し上げます。

新米部長として活動を行ってこれたのも、三役をはじめ部員皆様のおかげと感謝しております。

さて、昨年の女性部活動を振り返ってみますと、フレッシュミズ、緑会の活動は、大変活発で仲間作りや趣味の分野で楽し

く活動が行われ、充実した年だったと思います。

そして、女性部全体活動によります「レディースフェスタ」では、各支部ごとに出された料理の試食やゲームを行い、部員同士の交流を深め楽しい時間を過ごしました。

特に今回、明るい話題としてフレッシュミズの部員の参加が多く、これからの女性部の活力に繋がるものだと非常に喜ばしく思いました。

青葉会としては、特に乳製品消費拡大に力を入れてきました。毎年恒例となった、お中元セットの取りまとめにおいて、昨年は女性部オリジナルセットを作り、とても好評でした。

そして、十一月に地元で行われた「新そば祭」では女性部として乳製品を使った「そばクレ

ーム」を提供し、地域交流のきっかけになったのではないかと思います、これからもこの様な機会があれば参加して行きたいと考えております。

他にも各種学習会などを取り入れ酪農経営を支える一人として、生活上の為に努力して参りたいと思っております。

最後に本年も皆様にとって、事故や病気もなく健やかに、稔り多い年になりますことを祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。





『年頭のご挨拶』

根室農業改良普及センター北根室支所 支所長 西海豊顕

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族の皆様と共に迎えられたことと存じあげます。

昨年を省みますと、六月以降の百年に一度ともまで言われた長雨・低温には、牧草・サイレージ用ともろこしの栽培・収穫調整に大きな障害を与えられました。昨年のような気象は稀ではありますが、当地域においては四、六年周期で異常気象が確認されております。農業経営は自然という大きな相手と真正面から向かい合わなくてはなりません。昨年、本別地域で実施されました「サイレージ共励会」

では気象条件が悪い中、発酵品質は向上してまいりました。日頃の経営に対する基礎体力つくり（土づくり、草づくり）の実践として素晴らしい成果とあります。

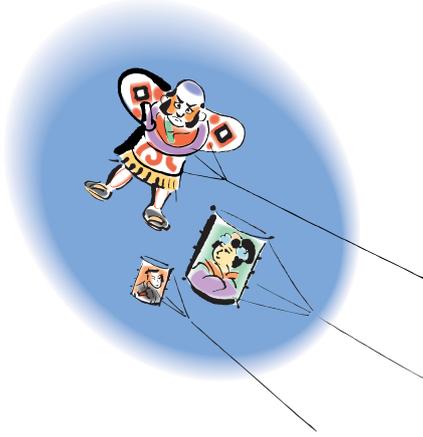
今年、食料・農業・農村基本計画の見直し、次期酪農肉牛等近代化計画策定の年です。国内外の情勢を見極めながら、しっかりと我が家の経営戦略を練ることが大切と考えます。そのためにも、『家族間の会話・挨拶』の実行が不可欠と思っております。

『阿吽』の呼吸も日頃の意志疎通が無ければ実現できません。是非、家族の輪（和）をしつかりと確認しながら営農へ取り組んで頂きたいと思っております。

普及センターは今年も組合員・ご家族の皆様、栽培されている作物、牛舎で飼われている牛たちが幸せな一年でありますように、計根別農協、中標津・別海町役場、関係機関等と連携を致しまして支援が出来るよう職員一同努力致します。

結びに、精力的な営農活動に對しまして敬意を表し、本年も皆様方がご健勝で稔り多い年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

さて頂きます。





今年のほ場管理を考える

～排水対策・ルートマット対策を～

昨年は長雨で収穫作業は困難を極めたことと思います（写真1）。

今月号は、排水対策、草地の活性化に向けての取り組みを紹介します。

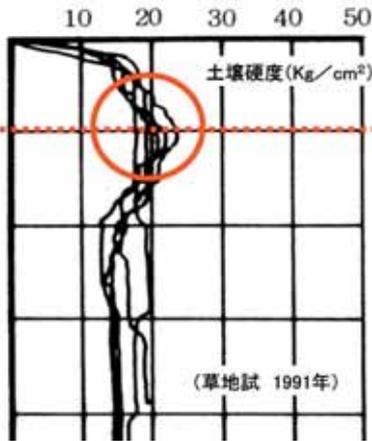


写真1 排水不良のほ場。なかなか水が引かない状態が続いた

ほ場内の排水性の改善

ほ場内に水が溜まらないようにするためには、草地用サブソイラーなどの施工により排水性を改善します（写真2）。

ほ場は、深さ一〇cm前後が堅くなりやすく、その部分を物理的に改善する必要があります（図1）。



施工後（写真3）、土壌の排水性が改善されたと、手応えを感じている事例もあります。



写真2 草地用サブソイラーによる切断のようす

ルートマット対策

草地の経年化に伴い、ルートマットが形成され（写真4）、土壌中に養分や水分、空気が行き渡りにくくなってきます。

ルートマットを切断すること（写真5）、通気性、物理性が改善され、マメ科率の増加や収量増加等の効果もあります。

今年も、昨年を教訓としてほ場に何らかの手を加え、より良い草作りができるよう考えて見ませんか？

詳しくは、普及センター、J Aまでご連絡下さい。



写真3 切断面のようす



写真4 経年化した放牧地のルートマット



写真5 表層穿孔(せんこう)タイプ。写真はエアレーター

2010年は寅年です

私たちとらっ子ファミリー



組合員さんと職員のご家族の年男・年女の方に
今年の抱負などを語っていただきました。



中学校に行ったら
勉強を頑張ります。

西計根別
漆原史留久さん
(漆原 俊之)



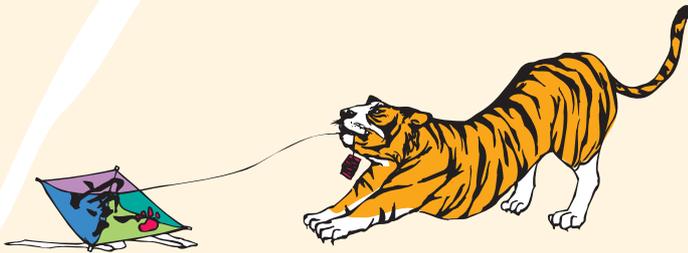
赤いチャンチャンコ
着るゾー!!

西計根別
日塔 芳夫さん



「世界平和を願っています。
「デカイ」

中計根別
伊藤 利文さん



今年健康で一日一日を
大切に過ごしたい。

中計根別
小林 賢二さん



今年も元気で
頑張りたい。

若 竹
柵木 貞男さん



最上級生になるので
6年生らしく下級生の
面倒を見ます。

南養老牛
影山 成臣さん
(影山 智)



テストで全部
100点取るぞー

南養老牛
田中 祥太さん
(田中 洋希)



勉強を頑張りたい。

上標津
木村奈々美さん
(木村 智)



今年共進会でリードを
上手になりたい!!!
「全共」目指すぞ!!!

旭新養老牛
佐藤 大夢さん
(佐藤 広光)



今年昨年より何事
にも厳しく!!
特に若い青年部員に!!
「コワッ」

南養老牛
影山 健一さん



今年はいっぱい搾るぞ!!!

西上標津
後藤めぐみさん



「放牧牛乳」をもっと
広めたいです。

東養老牛
山本 照二さん

南部地区



中本別
松本 夕香さん
(松本 貴志)

友達と仲良く



北本別
五月女 紀子さん

今年は何事も楽になりたい。



北本別
相澤 親さん

まだまだ若者には
負けません(口では！)



中本別
河合 雪奈さん
(河合 明美)

テストで100点
取るV!!



南本別
蛭田 久仁夫さん

今年は孫に
振り回されそう...



大成
高橋 英昭さん

皆さんが健康で良い
年になりますように。



大成
熊坂 ふち子さん

一年健康で
過ごせますように!!



酪進
権随 直美さん

『虎の子は地に落ちれば
牛を食つゝあり』テカ!



酪進
鹿野 一博さん
(ハイエストファーム)

今年も皆さん良い年で
ありますように。



酪進
二瓶 真紀子さん
(ハイエストファーム)

みんな健康で一年
頑張りましょう。



酪進
末廣 香さん

『人生送りバント!!』
息子の名言より



酪進
宍戸 ユキ子さん

今年も元気で
野菜づくりをしまーす!!



大成
宍戸 栄治さん

無理をせずに頑張ります。



大成
渡辺 薫生さん

土俵際でウツチャ
られぬよう頑張ります。



中本別
河合 きくえさん

一年間健康で
暮らせますように



大成
水沼 猛さん

明けまして
おめでとーございます。
体に注意して一年頑張ります。



職員
斉藤 有利さん

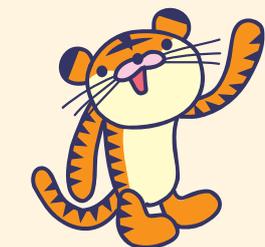
明けまして
おめでとーございます
牛乳を沢山飲んで
大きくなります。



職員
中條 匡晃さん

授精師の中條です。
ナカジョウではありませぬ。
来年も計根別に残れるよう
頑張ります。

職員パート



パート
玉置 博斗さん

職員になれるよう頑張ります。
ご来所の際には
お声をかけて下さい。



職員
湯山 貢さん

健康に気をつけ頑張ります。
1/4から営業しますので
よろしくお願いたします。

事情等現地研修会

購買部 松岡幸樹

去る九月三十日より十一日間、くみあい粒状配合肥料研究会主催の第二十六回北米B肥料事情等現地研修会に参加し、アメリカ・フロリダ州のリン鉱石採掘現場及びカナダ・サスカチワン州のカリ鉱石の採掘現場などを視察して参りましたので、ご報告させていただきます。

一、米国全農組貿易株式会社 (Z.U.C.)での研修

九月三十日、午前十一時に成田空港を出発し、現地時間三十日午前十時四十五分ニューヨークのJ.F.K国際空港に到着し、さっそく最初の研修先Z.U.C.に向かいました。

Z.U.C.は、社員四名で、日本の農家組合員の営農に資する肥料原料及び肥料製品の確保・買付、北米農業・農協等に関する調査及び情報収集を主な業務として行っており、また、今回の研修における道先案内人として社員が当研修に随行していただきました。

ここでは、研修の概要説明とアメリカ農業の説明を受けました。アメリカ農業の特徴は、西経一〇〇度線がおよそ年間降水量五〇〇ミリの線と一致しており、その西は降水量が少なく果樹や牧草などの栽培が多く、東は降水量が多くトウモロコシ、小麦、マイロなどの穀物栽培が多い。中でも年間降水量七〇〇〜八〇〇ミリのところが、穀物生産の中心となっている。また、これらに関連した形で各畜種の生産地域も分布しています。今回の研修で、一件カリフォルニア州でオーガニック農家を視察しましたが、この州は年間降水量が少ないため、スプリンクラーによる水の供給と畑に細い管を這わして液肥を供給し、イチゴや、野菜などを栽培し

ていました。訪問した時、ちょうど畑を耕こしていたのですが、畑の土は小石のような礫でプラウによる耕起作業はせずに、ディスクバインを引き、ケンブリックジローラーで整地する作業(写真)を行っていました。



写真 畑の整地作業

二、アメリカ・フロリダ州における研修

十月一日は、移動日で午前九時にホテルを出発し、ニューヨーク市内の国連本部などを視察後、ワシントン空港を経由しフロリダ州タンパ港へ到着後、ホテルに向かいました。

(一) タンパ港からのリン酸製品の輸出

十月二日、午前六時にホテルを出発し、リン酸製品の貿易港であるタンパ港のタンパブレックスターミナルを視察しました。

ここは、全米一の物流会社であるキングダー・モーガン社が運営しており、モザイク社の専用ターミナルとして機能しています。

製品の保管能力は、バラ倉庫三棟で約六五、〇〇〇t、液体アンモニウムタンクで約四五、〇〇〇tを有しており、専用の貨車(一割)とトラック(九割)で二十四時間体制のピストン輸



写真 サンドトラック
中央部分はリン酸製品専用タンク、その前後の円筒状のタンクにアンモニアを積載する。

送が行われています。この専用トラックは、サンドトラックと呼ばれる専用トラック(写真)で港から工場まではアンモニウム工場から港までは製品を二〇〇台のトラックで硫黄と製品がコンタミ(混ざり合う)しないよう特殊な構造となっています。(貨車も同じ構造)

施設は、パナマックス級の貨物船が利用できる全長二五〇m、水深一六mの荷役岸壁を三か所所有し、輸出入、輸入用、アンモニウム用と使い分けられていました。積込能力は倉出しからの本船荷役は五〇〇t/時間、貨車からの直接本船荷役は一、〇〇〇t/時間です。

(二) モザイク社のサウス・フォート・ミッドマインでのリン鉱石の掘削と精製工場の見学

次に視察したのは、モザイク社のリン鉱石鉱山であるサウス・フォート・ミッドマインでした。

モザイク社では、五つのマインを所有し、その埋蔵量は約三五、四〇〇年分有しており、視察したサウス・フォート・ミッドマイン約十年分有しているとのことです。

マインの採掘方法は、地表部から地下一〇mまで土砂層があり、そこから三〜八mのリン鉱層(マトリクツス：海洋生物がリン酸化したもので、リン鉱石・砂・粘土が一ノ三ずつ混ざっている)が広がっているところをドラッグライン(写真)と呼ばれる大型電動式掘削機で採掘



写真 ドラッグライン



写真 グラブバケット

ドラッグラインは、可動範囲が半径一〇〇m、重量三、一〇〇t、自走が可能な機械で、グラブバケット(写真)は一回で約六〇t採掘可能で自重は四五t、一二時間交代で二四時間採掘しています。

掘り上げたリン鉱層をウオーターガンで水を噴射し、スラリー状にしてパイプラインにより精製プラントへ送り込まれています。

精製プラントに送り込まれたリン鉱層は、洗浄篩機で土を取り除き一〜二五mm品(ペブル)と一m以下品に分離されていました。

ペブルと呼ばれる粒状のリン鉱石は一時間で一、六三〇t産出され、一m以下品は砂も含まれるため、試薬を加えてリン鉱石を浮上させることにより(フローテーション)分離されたものが細粒状のリン鉱石で一時間に二七〇t産出されます。

フロリダのマインでは、水は全てが再利用されるため、洗浄・篩の工程で分離されたスラリー状の土は沈殿池にパイプラインで運ばれ、土砂が沈殿した後の水は回収し再利用されます。マインの近くの沈殿池は、

第26回北米 B B 肥料

水鳥やカメ、アリゲーター（大型ワニ）等が生息しており、沈殿池を視察した時にアリゲーターが道路の脇を闊歩していました。

また、採掘を終えたマイン跡は、野菜畑、果樹園、放牧地などに再生することが法律で決められており、マインの周辺には野菜畑や果樹園、肉牛の放牧場が広がっていました。

(三) モザイク社のニュー・ウェールズ工場及びBB工場を車窓より見学
次に視察したのは、モザイク社の世界最大のリン安工場を車窓から見学しました。

この工場の敷地面積は、六四〇haで、硫酸プラントが五か所あり年間生産量は約四八〇万t、リン酸液のプラントが三か所あり年間一七二万P二〇五t、造粒施設が四か所年間四〇〇万t製造しており、他に飼料添加物用のプラントが二か所ありました。製品保管倉庫は肥料で一二万t（五万t二棟、二万t一棟）の保管能力があります。車窓から工場を見た印象は、長崎県の軍艦島のような大きな建物でした。

次に、コープ・プロダクション・サービスというBB工場をこも車窓からの見学でした。

この工場は、フロリダ半島南半分を商圏とし、約五、〇〇〇戸の農家へ直接販売している工場で、倉庫の中にバラ積みされた単肥をタイヤシヨベルのパケットでブレンダーに入れ、配合するだけで工場というよりは単肥配合所といった感じでした。また、肥料成分を週一回フロリダ州の役人が検査し、成分が切れていた場合は農家との契約により販売価格が調整されるといふ事でした。

三、カナダにおける研修

(一) ストルンワイナリーの視察

十月四日この日はカナダへ移動するため、午前六時にオーランドのホテルを出発しました。

カナダトロント空港に到着後、バスでワイナリーに向かう途中、エリ湖とオンタリオ湖を結ぶ運河やナイアガラの滝を形成した山が連なっている様子を車窓から眺めながら移動でした。

このワイナリーは、原料のブドウの栽培からワインの製造まで生販一貫したワイナリーで併設のレストランでワインを楽しむことも出来るようになっていました。また、料理学校も併設されており、ワインに合わせた料理も提案して販路拡大に努めていました。

カナダの名産品であるアイスワインも製造していました。アイスワインの収穫時期は厳寒期（零下八度以下となる時期の早朝）でブドウが木になった状態で凍結し、水分がほとんどないため、ブドウの濃厚な甘みと香りが特徴的でした。

(二) カンボテックス社の訪問

十月五日ナイアガラからバスでサスカトゥーン州サスカトゥーンへ移動し、午後からカナダで加里の輸出を一手に行っているカンボテックス社(Canpotex = Canadian Potash Export)の略)を訪問し、カナダ加里の輸出概要について説明を受けました。

カナダ加里の輸出は、鉱山から輸出積出港まで貨車で行われており、カンボテックス社では五、〇〇〇両保有しています。貨車一両に一〇三t積み込むことができ、最高一四二両編成で運行が可能であるが、現在は一三〇両編成で運行していると

のことで、日本への積出港はアメリカオレゴン州ポートアイランド港でロッキーマウンテンを越え三・五〜四日かけて運ばれています。



サスカトゥーン空港にて

(三) PCCS社アラン鉱山の見学

十月六日この日は、朝六時にサスカトゥーンのホテルを出発し、PCCS社のアラン塩化加里鉱山を視察しました。

カナダ加里の鉱脈は、埋蔵量推定一四〇億t、採掘可能量は六〇億tと推定され、世界の七五%を占めている。採掘方法は坑道採掘法と呼ばれ、基盤の目のように東西南北に掘り進み、外壁の圧力に耐える支柱部分を残して地下道を構成しています。また、鉱脈が切れた所から折り返して、支柱部分を取り崩し交代しながら採掘して行く計画であるが、未だに鉱脈の先端までは行き着いていないとのこと。

カナダ加里の九五%以上はサスカトゥーン州で生産され、その鉱脈は

地下約九〇〜一、二〇〇mの深さにあり、幅八〇km、長さ七二〇kmの帯状をなして広がり、あと一〇〇年は採掘可能と言われています。

視察先のアラン鉱山は、地下約一、〇〇〇mに展開しており、作業用エレベーターで約五分地下に下がり、トヨタランクルのオープンカーで坑道を約六km北上し、採掘現場を視察しました。



写真 掘削機械

掘削機械（写真）は、重量一八五tの巨大なもので、部品をエレベーターで運搬し、地下で組み立てて使用していました。採掘した鉱石はベルトコンベアで地下道を搬送し、ホッパーに集め、地下に通ずる縦坑により工場へ引き上げていました。

工場での精製方法は、原鉱石には加里四〇%、塩分五五%、粘土五%が含まれているため、一定のサイズに粉碎し、熱塩水に混ぜ粘土を取り除き、浮遊選鉱試薬を加え、空気を吹き込み、泡立てて加里を浮上させ回収している。

回収した加里は、天然ガスを使い乾燥させ、篩作業により、粉品と粒品に選別し、カンボテックス社の専用貨車で出荷されていました。

終わりに、今回の研修は肥料原料の掘削現場を直に見て、輸入原料の情勢を聞くことができ大変有意義なものでした。化成肥料が高値で推移している現状ではありますが、今後の購買事業に今回の研修が役立つよう事業推進に邁進していきます。

計根別 大活躍！ 全道JA青年部大会！！

太田隼樹君アームレスリング大会準優勝！東北・北海道大会出場決定！！

12月3日（木）、4日（金）に全道各地より総勢約600名の青年部の盟友が集結した全道JA青年部大会が行われました。今回、計根別青年部より7名の精鋭が参加しました。参加した精鋭の中から、大成支部支部長の河本慎太郎君とアームレスリング大会で準優勝した太田隼樹君の2名より全道大会の報告をしていただきたいと思います。

そしてあの森崎博之さんと…!?

全道JA青年部大会に参加して

河本 慎太郎

僕は今回、初めて全道大会に参加しましたが、すごく良い経験をする事ができたと思っております。

全道各地の、それぞれ酪農に留まらず畑作等の農家の方々の地域の活動内容や問題点を知ることができ、また、力を合わせて盛り上げていこうとする心意気を感じることができました。どの農業においても共通の問題点はお嫁さん、後継者の減少による労働力の低下だそうです。

また、分科会（意見交換会）では助言者であるホクレンの方より酪農の現状は厳しいとの言葉を頂き、腹を決めてやらなければならないと熱き想いを注入されました。

そしてアームレスリング大会では太田隼樹君が準優勝！計根別の名を全道に響かせました！！詳細は本人の報告がありますのでそちらを…。

計根別の名を響かせたといえば、今年より計根別青年部を紹介するために広報部会が壁新聞を作成して展示しました。これも素晴らしい出来で、他青年部はパソコンを駆使したものを展示してましたが、それに対し、我が青年部は手書き！見やすさ一番で色々な方が足を止めて見てくれました。もちろん今年大好評だったお歳暮ギフトも持って行き展示しました！

そして計根別を一番アピールしたといえば、講師で来ていたあの森崎博之さんに部長が壇上に上がり、全道の盟友六〇〇人が見ている前でお歳暮ギフトを手渡したことです！さすが計根別の部長は一味違う！と感激しました。

今回、これだけ計根別青年部が活躍した全道大会に参加できたことがすごく良い経験になったと

ともに、今まで接したことのない酪農以外の人たちと関わり、色々な話を聞けてとても勉強になりました。とても充実した2日間でした。

腕相撲と僕

太田 隼樹

至る十一月六日（金）に行われた根室地区JA青年部大会のアームレスリング大会にて優勝し、十二月三日のJA道青協会長杯各地区対抗アームレスリング大会に駒を進めることになりました。

全道大会では各地区から予選を勝ち上がった猛者たちを相手に初戦で圧勝！続く二回戦目、コスプレで登場した選手になんとか勝ち、準決勝



対戦相手は...シャア？
若さゆえの過ち...でしょうか

では長時間の格闘の末、引き分けによりジャンケンで勝利し、決勝まで進むことができました。

しかし決勝戦の相手は北海道のアームレスリング大会でチャンピオンになったことがあるという実績を持つバケモノでした。そんなバケモノに勝てるはずもなく結果は惨敗…。しかし、根室管内では初の初戦突破！しかも準優勝という成績を残す事ができて本当に良かったと思います。

僕を応援してくださった根室管内の青年部の方々、特に計根別農協青年部の先輩方には心から感謝しています。あの会場内に響き渡るような大声での応援がなければこの結果はなかったと思います。

そして、僕の特訓に付き合ってくれた杉本聡君、山本博一君、本田拓哉君には心から感謝申し上げますとともに、一月に行われる東北・北海道大会に向けての特訓にまた付き合ってくださいませ！



緊迫した決勝戦!!相手...でかっ!?
「決勝の相手は化け物か!?!」
(シャアより)

なんと！森崎博之さん(中央)と写真撮っちゃいました!! さすが森崎さん! 爽やかな笑顔!! みんな緊張しすぎて笑ってないです!(汗)



青年部広報部会の力作!壁新聞!!その前で集合写真!!



我が青年部長(左)から森崎博之さん(中央)へギフトをプレゼントしちゃいました!! 右の方は今回、お歳暮ギフトで協力してくれた野付満協の青年部長です。ハイ!!



今回大好評だった青年部お歳暮ギフトと手作りソーダチーズ...全道にお披露目!!

THE FRIEND CONNECTION

松田孝夫(東部地区)
S53.9.28生 31歳

- Q1. あなたの趣味は?
A1. ネットゲーム、釣り
- Q2. あなたの得意技は何ですか?
A2. おいしい牛乳を搾ること
- Q3. 好みの女性は?
A3. 奥さん
- Q4. 将来の目標は?
A4. 60歳で引退
- Q5. あなたの夢は何ですか?
A5. 奥さんと子供と楽しく暮らし続ける
- Q6. 友達を紹介してください
A6. 伊藤利文さんです
- Q7. なぜ伊藤さんを選んだのですか?
A7. 同じ地区だからです



今年から経営移譲して自分の代!やあってやるぜ!!

女性部一大イベント

『レディース♥フェスタ』



十二月八日交流センターにて、部員三十九名の参加があり、参事、部長等を招いて、女性部『レディースフェスタ』を開催しました。今回は参加人数がとても多く、各支部で前日と当日で作ってきて頂いた料理を持ち寄り、皆で試食しました。

各支部の料理は、「牛乳豆腐入り豚汁」、「豆腐入りドーナツ」、「シフォンケーキ」、「大根の漬物」、「パホームケーキ」、「孟宗汁」、「ド



「それな～に?」「おいそ...!」

ライカレーポテト焼き」、「スイートポテト」、「ヨーグルト」、緑会からは「お米ピザ」が出されました。

「ご飯は毎年、おにぎりでしたが三役が前日にひじき煮を作ってきて、「ひじきご飯」を作り、どの料理も好評でした。

午後からは家庭で使わない物のバザーや、本別支部のハンドメイドの『鍋帽子』を販売しました。

盛り上がる、ゲームは三種目が個人戦で、×ゲームでは一問目から半分以上の方が抜け、二問目から十名程度の方で行うなど予想外の展開になったりし、楽しいゲームとなりました。

開会挨拶で参事から、「三十年近く行ってる、レディースフェスタの歴史を編集・整理してみて下さい」と言われましたので、役員をはじめ部員の皆様のご協力をお願いします。

《事務局・岩本めぐ美》



「これなら私も作れそう」



「あら奥さん、いいもの当たったわネ!」





申告書の作成は 国税庁ホームページの

「確定申告書等作成コーナー」で!!

e-Tax
データ送信!



便利な
書面提出も!

画面の案内に従って金額等を入力すれば、税額などが自動計算され、所得税の申告書や青色申告決算書などを作成できます。

「e-Tax」を利用する方にもおすすめ!

「確定申告書等作成コーナー」で作成したデータは、e-Tax（電子申告）を利用して提出できます。

「e-Tax」を利用して申告すると・・・

1 最高5,000円の税額控除

平成 21 年分の所得税の確定申告を本人の電子署名及び電子証明書を付して、申告期限内に e-Tax で行うと、所得税額から最高5,000円の控除ができます（平成 19 年分又は平成 20 年分の確定申告でこの控除を受けた方は、受けられません。）。

2 添付書類の提出省略

医療費の領収書や源泉徴収票等は、**その記載内容（病院などの名称・支払金額等）を入力して送信**することにより、これらの書類の提出又は提示を省略することができます（確定申告期限から 3 年間、税務署から書類の提出又は提示を求められることがあります。）。

3 還付金がスピーディー

e-Tax で申告された還付申告は早期処理しています（3 週間程度に短縮。）。

「入力データを送信！」



国税庁ホームページ www.nta.go.jp

※ パソコンの環境などにより、ご利用いただけないことがあります。



今月のシャッターチャンス

「あ。洋平からメールが来たぞ」
「何の用事かな...?」
「中村さん見ないでよ」



「チェックしろ。こつなったら」
「ウルトラヘブンに変身だ??」
「シュア~~~~~!!!!!!」



「もう遅いよ...
ヘッヘッ...!!」

「ど〜れど〜れ」
「ナツ、ナヌ〜」
「洋平が本田ハリーカン星人に襲われているだろ?」




〜鹿野亮平ヒーロー編〜

	<h1>交通安全情報 No52</h1>	平成21年12月15日 警察本部 交通部 交通総合対策センター
	～ ストップ・ザ・交通事故死 ～	

週末に事故多発！

9件の事故で3人が死亡、7人が重傷

12月12日（土）と13日（日）の2日間で、死亡事故が3件、重傷事故が6件発生！

死亡事故は、

- 天塩町：シャーベット路面で正面衝突（国道）
- 千歳市：車両単独による路外逸脱（道央自動車道）
- 北見市：交差点での自転車事故（道道）



重傷事故は、正面衝突や出会い頭事故のほか、夕暮れから夜間にかけて、交差点などでの歩行者事故が4件発生しました。

交通事故は、決して他人事ではありません。運転者一人ひとりが安全運転の励行を！

交通事故防止のポイント！

- **冬道の怖さを知りましょう！**
乾燥路面の感覚のままハンドルやブレーキを不用意に操作すると、スリップなどを招き、重大事故につながります。
- **交差点ではしっかりと安全確認を！**
 - 交差点では、たとえ青信号でも油断せず、歩行者・自転車の有無をしっかりと確認しましょう。
 - 歩行者や自転車の飛び出しなど、不意の動きにも対応できるよう、スピードダウンを心掛けましょう。
- **全ての座席でシートベルト着用を！**
シートベルトはあなたと同乗者の「命綱」です。後部座席を含め、全ての座席で必ずシートベルトを着用しましょう。
- **歩行者・自転車もルールを守って！**
 - 歩行者・自転車利用者の皆さん、いつもの通り慣れた道路でも、油断せず車に注意しましょう。
 - 青信号でも左右を確認してから渡りましょう。



＜ テイ・ライトとベルト着用を忘れずに！ ＞

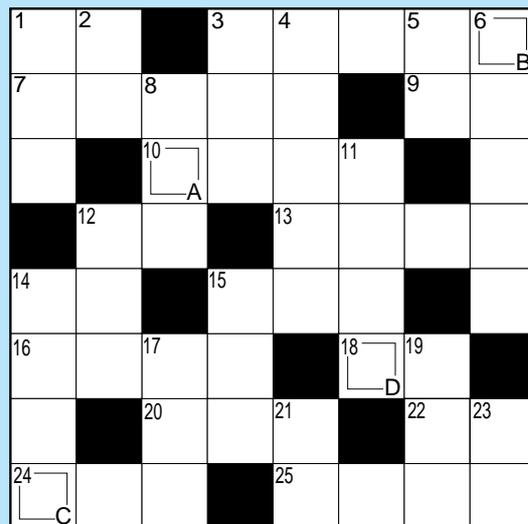
クロスワードパズル

【タテのカギ】

- 1 ボクシングでこれが投げられると試合中止
- 2 土地の面積の単位
- 3 五人囃子の楽器のひとつ
- 4 略語はマキシ
- 5 言っても仕方がない言葉
- 6 セピアの原料にもなる
- 8 道の両端の部分
- 11 僧に叩かれる魚
- 12 ネギの別名
- 14 短い時間
- 15 後から足すこと
- 17 卵形の円
- 19 米を使って作るグラタン
- 21 帰り道
- 23 雨がやむと忘れることもある

【ヨコのカギ】

- 1 十二支の五番目
- 3 味見と見分けがつきにくいかも
- 7 「朧月」
- 9 土地の値段
- 10 江戸時代のスーツ
- 12 新聞記事の材料
- 13 シェークスピアの四大悲劇のひとつ
- 14 別名はスズナ
- 15 大島、結城、塩沢
- 16 まわりより高くて平らな土地
- 18 水の流れが止まっている所
- 20 画家
- 22 ↔文科
- 24 近江八景のひとつ、「矢橋の○○○」
- 25 こんな海岸は潮干狩りにむいている



- 正解者 5 名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 【応募方法】 左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、組織広報係まで FAX（78-2556）お願いします。
- 【締め切り】 平成22年 1 月15日まで
12月号、1月号の当選者発表は「けねべつ」2月号誌上

きりとり線

クロスワードパズル

住 所 _____

氏 名 _____

TEL _____

答え

A	B	C	D

ご意見をお寄せ下さい。(季節の便りなど何でもけっこうです)

12月号抽選の延期について

いつも「Aけねべつ」広報をご覧いただきありがとうございます。

また、クロスワードパズルに参加していただき重ねてお礼申し上げます。

さて、この度、12月号、1月号につきましては、都合上、発行期間が短くなった為、両号の抽選を誠に勝手ながら1月16日にさせていただきます。

これからもクロスワードパズルの参加を宜しくお願い致します。

営農部 営農企画課（大矢根裕辞）

きりとり線

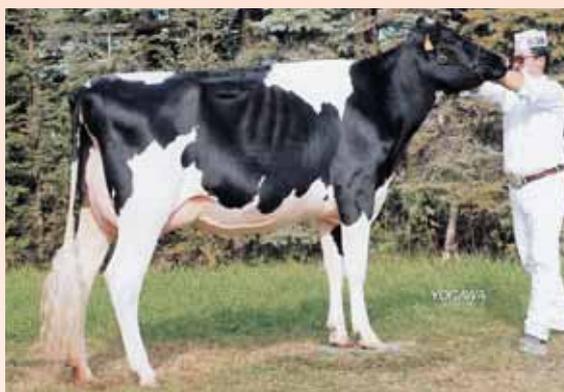
2009 COW OF THE YEAR

計根別農協乳牛改良連合の年度収めが、12月22日中標津町マルエー温泉にて、来賓を含む51名の参加で、今年度も頑張っていた『牛』を酒の肴にし、盛大に開催されました。

昨年度より、忘年会時にて催されている『COW OF THE YEAR』ですが、今年度は各同志会より活躍された未経産牛1頭・経産牛1頭をそれぞれコメントと写真を添えて選出し、会場内で投票が行われ結果は以下の通りとなりました。

最後に広報部が作成（上標津同志会久保君）したDVDが放映され、今年1年活躍した乳牛や共進会風景を鑑賞し、来年度開催される『全日本ホルスタイン共進会』に向けて新たな飛躍を誓っていました。

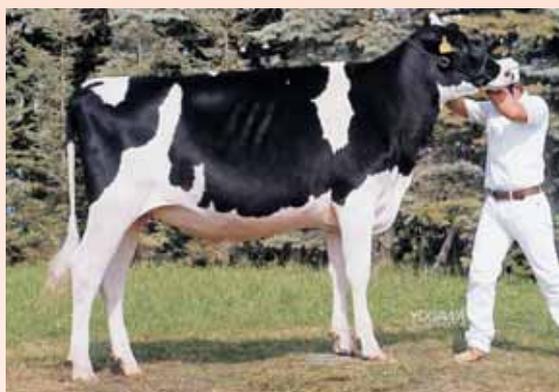
経産牛の部



スターフィールド ヒンベル ピーナス ルフィー
星野 淳

第47回 J A計根別乳牛総合共進会
シニアグランドチャンピオン
平成21年度 根室管内ホルスタイン共進会
第8部（ジュニア2歳クラス） 1等1席
2009北海道ホルスタインナショナルショウ
第8部（ジュニア2歳クラス） 1等4席

未経産牛の部



ファーストブライト カルピナ ダーハム
（有）影山ファーム

平成21年度 根室管内ホルスタイン共進会
第6部（未経産シニアクラス） 1等2席
2009北海道ホルスタインナショナルショウ
第6部（未経産シニアクラス） 1等2席

…………… 受賞者から一言！ ……………



皆様のおかげで良い結果がもらえました。
ありがとうございます。



来年も僕の年になりますように！

組合長の公務によりモーの眼差しはお休みします。

目指せ!!
『北海道全共』



編集 / 計根別農業協同組合 営農部 営農企画課
発行日 / 平成22年1月1日